

さあはじめてみよう

✓ 財政活動チェック

- 班や地区の活動をふりかえりながら、どんな思いで同盟費を納めているのか、交流してみよう
- 班活動ノート（名簿）に、班員みんなの名前を書き込み、一人ひとりがどんなようすでいるか交流し、月に1回は訪問し、連絡をとって、語りあい、班活動への参加と同盟費の納入を呼びかけよう
- 財政係、機関紙係を決めて、班会議のなかでみんなで協力しあってとりくもう
(班会議のレジュメに「同盟費タイム」、月末はメールで納入を呼びかける、「カフェ&訪問」など楽しいとりくみを決める e t c.)

✓ 機関紙活動チェック

- 機関紙をひろげながら、感想と魅力を交流してみよう
- 毎回の班会議で「民新」タイム、「われ高」タイムをとり、みんなで読んで交流しよう
- 読者を把握し、協力しあって配達・集金しよう。すべての読者に配達し集金するために、県・地区委員会や日本共産党の協力も得てとりくもう

同盟費・機関紙内訳一覧

		中央	都道府県 (地区還元金)	班
同盟費 一般	550円	50円	460円 (270)	40円
高校	250円	20円	200円 (120)	30円
減額	200円	10円	170円 (110)	20円
民主青年新聞	680円	550円	110円 (75)	20円
われら高校生	380円	295円	55円 (35)	30円

※地区還元金は、実情に応じて都道府県と相談してください

財政・機関紙活動のしおり



民青同盟の財政活動とは？

「班はなんでもしゃべれる楽しいところ」「職場を変えられたのは悩みを出しあえる班会があったから」——民青同盟は、班会議や「3分間スピーチ」、誕生日会、自分史交流会など、なんでも語りあい、どんなことでも一人ひとりの声にこたえて、学び、行動することを大

切にしてきました。全国青年大集会をはじめ学費や平和など運動の発展に力をつくしてきました。

こうした民青同盟の魅力を支えているのが財政活動です。

みんなの力で 民青同盟を支える

民青同盟は、自分たちの努力で財政をつくり、運営しています。民青同盟の財政には、同盟員が納める同盟費、機関紙収入などの事業活動、募金という3つの分野があります。これらは、民青同盟の専従同盟員の給与、事務所の維持や電話代、「民青新聞」「われら高校生」の発行、宣伝物づくりやさまざまなイベント、企画などに使われています。

班も財政活動にとりくみ、班財政をつくれば、「映画の上映会をひらいた」「青年をさそって鍋会」など、班活動が豊かに発展します。

一人ひとりつながり みんなの居場所をつくる

「仕事が見つからないのは自分のせい」「他人の目ばかり気にして本当の気持ちが話せない」——少なくない青年が生きづらさをかかえています。民青同盟は、一人ひとりの思いに耳をかたむけ、交流し連帯し、みんながつながることを、なにより大切にしています。一人ひとりが同盟費を納める、読者に配達し、集金する——毎月ねばりづよく財政、機関紙活動にとりくむことは、同盟員、読者一人ひとりつながり、仕事や生活のようすを聞き、願いや悩みにこたえる居場所となる班をつくる活動でもあります。



民青同盟の活動を、みんなの力で支えましょう。一人ひとりが感じている魅力と引きつけて、財政活動の大切さを交流し、支えあってとりくみましょう。

発行：民青同盟中央委員会

■ 財政活動の三つの分野 ■

民青新聞
われら高校生は

■ 機関紙活動 ■

かけがえのないメディア

一人ひとりを大切に、財政をつくり みんなとつながる組織に

同盟費を毎月、自覚的に納めることは、同盟員としての大切な活動です。班や地区、県が同盟員一人ひとりに同盟費を納めようとはたらきかけることで、一人ひとりの思いを集め、民青同盟をみんなで支えることができます。

毎月、同盟員と会い、近況や願いを語りあう努力をつよめましょう。すべての同盟員に、ねばりよくメールや手紙、班ニュースや機関紙、民青紹介ビデオを届け、すべての同盟員に班のあたたかい「心」を送りつけ、同じ仲間として、同盟費の納入と班活動への参加をよびかけましょう。

同盟費の納入状況を班活動ノートに記入し、班のみんなで一人ひとりに思いをはせる時間をつくり、毎月の目標をもってとりくみましょう。

同盟費減免制度

失業、病氣、生活の困難などで、経済的に同盟費を納めることが困難な仲間のために、減額（200円）・免除の制度があります。制度を使う際は、本人のようすや思いを聞き、班で確認をとるようにしましょう。

同盟費

かけがえのないメディアの発行を保障する

機関紙代は、青年に希望を届け、班活動を豊かにする「民青新聞」「われら高校生」の発行を保障し、全国の班や地区、都道府県委員会・中央委員会を支えています。

配達・集金活動を確立するには、ま

ず、だれが読者なのかをみんなで共有するところからはじめ、班や担当者は、みんなで協力して配達できる体制をつくりましょう。配達が難しい場合は、県、地区や日本共産党の協力を得ることも大切です。

機関紙代

活動を維持し、豊かに発展させるとりくみ

募金活動は、専従同盟員の生活を保障する毎月の「専従者生活保障募金」と、夏・冬にとりくむ都道府県・地区委員会の財政確立のための募金があります。いずれも活動を維持し、豊かに発展させるために欠かせません。

活動発展に期待をよせる方々に募金をよびかけ、協力してもらうことは、民青同盟の活動を知ってもらう機会になります。班の活動をふりかえり、紹

介するチラシ・ニュースなどをつくり、目標をもってとりくみましょう。

専従者の生活を支える

財政のなかには、専従者の生活保障も含まれます。民青同盟の活動を日常的に担う仲間がいるからこそ、より魅力的で自主的な活動が保障されています。

募金

「民青新聞」「われら高校生」は、青年に希望を届け、民青同盟の魅力がたくさんつまったかけがえのないメディアです。紙面の魅力を交流し、すべての読者に届け、同盟員・青年に購読をよびかけましょう。

悩んでいるのは一人じゃない 全国の仲間と **つながる** 新聞

「落ち込んでいるときに読んだら同じような悩みがあって励まされた」「全国でがんばっている仲間がこんなにいるんだっていつも励まされる」——全国の活動や青年の思いがリアルに分かり、日本中の読者と交流できるのが「民新」「われ高」の魅力。文化、スポーツ、人間関係など、青年の気になること、知りたいことから出発した多彩なテーマも人気です。読者の投稿は、仕事のやりがいや悩み、進路や学校生活、恋愛、日常のつぶやきなど、共感、発見、励ましがいっぱい。あたたかい返信やアドバイスもあります！

埼玉・東部北 アツシさん



会社が倒産して解雇されました。今はハローワークに通って何社も面接しているけど、ぜんぜん決まらない。この前『就職は自己責任か』という記事を読んで、自己責任を押しつける社会や企業がおかしいんだと思って、すごく励まされました。

青年の目線から社会とつながり **かえていく** 展望が見えてくる

「ひどい働かせ方のおおもとに大企業中心の政治があるとわかって、自分や人を責めなくなった」「班で交流して、『運命なんてない。かえていける』と分かって希望が持てた」——「民青新聞」「われら高校生」は、

一人ひとりの悩みや苦勞、喜びに寄りそい、生きづらさのおおもとをかえていく展望がつかめる新聞です。「ネットカフェ難民」を取り上げた記事は、社会的に注目され、世論をおこし、政府をうごかしました。

魅力あふれる班活動・運動発展の **ヒントがたっぷり**

「読むと班活動が充実」「普段なら話題にしにくい話も、話題にできる」——「民新」「われ高」には、全国の班活動が紹介され、「食べ物企画は失敗がない」「アンケートを取ってみよう」など活動発展のヒントが盛りだくさん。



岡山・倉敷 サキさん



班で読むとすごく盛り上がる。好きなのは人間関係の討論コーナー。深いところの悩みも率直に語っていて、それを読んで班員が「実は私も悩んでいたんだ」って、悩みを打ちあけてくれたことも。民新の投稿がなかったらそういう話ができなかったし、いっしょに読んでよかった。